

一般質問

・スポーツ振興の拡充に向けての
施設整備について



植田浩之

問 スポーツを振興するにあたって、利用者に気持ちよく利用してもらうために、施設

者も増えてきています。女性用トイレ対策も必要ではないでしょうか

環境は整えておかないといけません。その中で今回は浜岡球場の環境整備について伺います。球場の北側駐車場から球場に入ってくる場合、現在、西側道路球場側に歩道がないため、利用者が車道を通行している状態です。駐車場から球場入口までは歩道を設置するべきではないでしょうか。また、球場入口の道路西側に荒廃地があり、季節によっては草木の葉や種子などが球場に舞い込んで来て困っているようですし、景観も非常に悪い状態です。草木の整備を所有者に依頼するとか、駐車場として利用を考えたただければよいかと考えます。

もう一つはトイレの問題です。大きな大会の場合は選手だけでなく大勢の観衆が来場します。高校野球県大会の時は、現在の数では足りず仮設トイレを設置していると聞いています。近年女性の観戦

答 当市では総合運動場を始めるも増えてきています。女性用トイレ対策も必要ではないでしょうか

め、市民プールや各地区体育館など多くのスポーツ施設を整備し、市民の皆さんがスポーツに取り組み環境を整備しています。浜岡球場についても、県内外のチームにより、練習試合や合宿に活用していただくなど当市の中核となるスポーツ施設と認識しています。球場西側道路の歩道整備については、道路西側部分に歩道が整備されていることから、そちら側を利用していただければと考えられています。球場西側の土地については、当施設のみに限らず隣接農地にも影響を及ぼしていることから、所有者に土地の適正管理を引き続きお願いしていきます。トイレの整備については、現在、すべて男女別トイレとなっており、高校野球県大会では、球場北側駐車場へ男女別仮設トイレを設置し、利用者への利便性を図りました。

一般質問

・認知症施策の推進について



櫻井 勝

問 2015年に「新オレンジプラン」が策定されました。そこで本市の認知症予防の現状と、具体的な取り組みを伺う

チェックの結果により、認知症予防教室を開催し、症状の進行を防ぎ、改善を図っています。

答 平成31年4月1日現在、本市の高齢化率は29・2%で全国的な傾向と同じく認知症の人も年々増加しています。このような中、「新オレンジプラン」による取り組みを進めてきましたが、6月にはさらに踏み込んだ「認知症施策推進大綱」に沿った施策を実施していくことになりました。この大綱の基本的な考え方は、認知症の人が尊厳と希望をもって、症状がない人と同じ社会で共に生きる「共生」と症状を遅らせることや進行を緩やかにする「予防」を両輪として施策を推進していくものです。


問 2025年本市高齢者の認知症者推定人数はどれくらいか

答 国の推計によると、高齢者の約5人に1人とされているため、単純に本市にあてはめると、1,900人ほどになります。

問 認知症サポーターの数、またオレンジメールとシールの数は

答 令和元年11月末時点で4,550人、小中学生のキッズサポーターは555人です。10月から始めたオレンジメール登録者数は105人、オレンジメール交付者数は21人です。

次のアドレスに直接空メールを送信してください。
omaezaki-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com
右のQRコードからメールアドレスを読み取ることも可能です。
不明な点は、高齢者支援課におたずねください。



オレンジメール登録用QRコード